

◆主題名

個性を尊重する社会

内容項目
C-(11)公正、公平、社会正義

教材名・出典
リスペクトアザース

本時のねらい
よりよい集団や社会の実現に向けて、自分が積極的に行動を起こそうとする心情を育む。

生徒の実態を把握するために必要なアンケートの内容
導入:「リスペクトアザース」って、どんな意味だと思う？
「リスペクト」は？「アザー」は？ 実は、これが今日のタイトル。どんな意味か、考えながら読んでみよう。

中心となる発問を主題とつなげるために、どんな発問をしておけばよいだろうか。

- ①「リスペクトアザース」って、どこの言葉？どんなときに使うんだろう？
- ②日本に帰ってきた「僕」は、どう思った？ A:「日本に『リスペクトアザース』の世界はない」
本当はない？考えてみよう。ワークシート「リスペクトアザースしたこと・されたこと、どっちが多い？」
- ③じゃ、アメリカには「どこにでもある」の？→現在の人種差別問題を想起。国の問題ではない。
「リスペクトアザース」は心のもちよう。

◆テーマ
(中心となる発問)

「リスペクトアザースの世界」をつくるには？
(他を尊重する)

ねらいとする価値に迫るために

なぜ学び合う活動をさせるのか、その意図を明確に。

◆学び合う活動のねらい

変容をねらう 多様さに気付かせる 自分の考えを深めたり広げたりする
その他()

学び合う活動のねらいを達成するための手立て

1 心情円盤 2 ネームプレート 3 付箋紙 4 心のものさし 5 ICT 6 その他

学び合う活動のスタイル

1 フリー(クラス全体) 2 ペア 3 グループ 4 その他

◆最後の振り返り

この時間を通しての「本音」が聞けるように！

【授業後の反省】

○教科書の注にある、法務省HP「リスペクト・アザース」の動画を見せてから授業をすすめた。生徒は、主人公が感じたアメリカと日本の違いをイメージしやすかったと思う。

○導入で、ドラえもんの話を使ったクラスもあった。(実践教材のフォルダに入っています)「個性」のイメージをもたせるには、良かったとのことだった。

○「尊重する」＝「相手を大切にすること」というのはどういうことなのかを、より深く考えさせ、「行動を起こそうとする心情」につながるよう心がけた。